

慢性期医療病棟が 『慢性期医療認定病院』に認定されました



▲審査の説明を聞く、院長始め幹部職員

この度当院は、2009年2月、日本医療機能評価機構の認定病院となったのに続き、さらに今回、慢性期医療病棟が日本慢性期医療協会の認定病院を受けました。

急性期から慢性期そして介護期という流れの中、高齢化が進む現在及び今後の社会においては、慢性期医療がますます重要となってきます。医療機能評価認定病院として3年目の当院が地域における役割を考える中で、慢性期における診療の質の確保と向上を目指し、この度の認

定のため、協会が策定した「慢性期医療のClinical Indicator(臨床指標)」に沿って、診療の質を測る審査を受けるに至りました。

内容は、昨年(2011年)4月にキックオフ宣言をし、機能評価対策室を中心としたメンバーで取り組みを開始しました。毎月の「臨床指標」に基づいて自己評価を行ったあと改善を重ね、12月にそれらを提出、本年(2012年)1月27日に訪問審査を受けた結果、3月に愛媛県で第1号の認定病院となりました。

審査員からは、自己評価を上回る評価を受け、「病院の理念と基本方針にマッチし、スタッフや設備等も充実した最高のリハビリ環境の上、教育体制及び委員活動も積極的になされており大変評価できる」というコメントを頂きました。

今後もさらに高齢化社会に対応すべく患者サービスの向上に繋げていき、選ばれ喜ばれる病院を目指し職員一同精進していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「慢性期医療のClinical Indicator(臨床指標)」とは…?

「10領域(大項目)62項目(指標)」で構成されており、特に「終末期医療」「チーム医療」「地域連携」の3領域については、慢性期医療の現場の実情が反映され強調された項目となっています。

審査については、協会から3名の審査員が訪問し、事前に自己評価した結果を基に62項目の指標を3段階で採点します。認定期間は5年間となり、更新については協会が主催する学会・研修会等に参加が求められ、診療の質向上が図られます。

【慢性期医療のClinical Indicator(臨床指標)】

- | | | |
|---------------------|-------------|-------------|
| ①医療(7項目) | ②薬剤(6項目) | ③看護・介護(8項目) |
| ④リハビリテーション(5項目) | ⑤検査(6項目) | ⑥栄養(7項目) |
| ⑦医療安全・院内感染防止対策(6項目) | ⑧終末期医療(5項目) | ⑨チーム医療(7項目) |
| ⑩地域連携(5項目) | | |

《合計 10領域(大項目)62項目(指標) 124点満点》

平成24年度 新入職員の紹介

本年度は、31名の新入職員が当法人へ入職しました。
4月2日に行われた入職式では、木戸理事長より「これからの高齢化社会を支えていくようそれぞれの専門分野に特化した医療を提供し、一緒に頑張っていきましょう」と激励の式辞がありました。



Q. 新入職員のみなさんに質問です!
①趣味・特技 ②意気込みを一言

◆リハビリテーション部 16名



PT	楠目 紗代	①散歩・音楽鑑賞 ②患者さんの心に寄り添えるPTになりたいです。
	栗田 恭輔	①映画鑑賞 ②人に合わせた理学療法ができるPTになりたい。
	佐伯菜津美	①ドライブ ②学ぶ姿勢を忘れず、何事にも笑顔で挑戦していきます。
	高尾 康平	①ダーツ・釣り ②患者様に信頼される理学療法士になりたい。
	高須賀純一	①ボウリング ②明るく笑顔を大切にして、お仕事を頑張ります。
	中田 衛樹	①野球・ソフトボール ②皆さんから信頼していただけるよう頑張ります。
	山下 望	①音楽鑑賞 ②毎日一生懸命頑張ります。
OT	石川 絵梨	①体を動かすこと ②毎日元気に頑張ります!座右の銘は為せば成る!
	石川 奈緒	①映画鑑賞 ②患者様に信頼されるOTになりたいです。
	菊地真里恵	①ドライブしたり友達と騒ぐこと ②笑顔で生き生き頑張ります!
	篠崎亜津子	①読書・DVD鑑賞 ②日々、成長できる作業療法士になりたい。
	武内 俊憲	①音楽鑑賞 ②いつも笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。
ST	盛次 宏樹	①スポーツ・料理 ②「頑張ります!!」以上。
	阿部 倫子	①カフェ探し ②患者様に愛され、信頼されるSTになりたいです。
	東 美穂	①音楽鑑賞・カラオケ ②常に向上心を持って頑張りたいと思います。
	兵頭 直樹	①映画鑑賞 ②地道に努力を積み重ね、力を付けたいと思います。

◆看護部 13名

看護師	石尾 文武	①ドライブ ②患者さんみんなに好かれる看護師になりたい
	金井くるみ	①音楽鑑賞 ②誰に対しても優しく思いやりのある看護師になる。
	河本恵理佳	①音楽鑑賞 ②笑顔で優しく、思いやりのある看護師になりたい。
	佐々木美由紀	①バン屋さんめぐり ②笑顔を大切にし、思いやりのある看護師になる
	白井 敦士	①バドミントン ②一期一会の精神で気を抜かず毎日頑張っていきたい。
	島 菜摘	①読書 ②幅広い視野を持った医療従事者になりたいです!!
	矢野 愛望	①料理 ②明るくて優しい看護師になりたいです!常に笑顔で!
	山下 智也	①ジョギング・水泳 ②好きな言葉は「一生懸命、努力は必ず報われる」
	山下奈津紀	①料理 ②より深く知識・技術を身につけて頑張りたいです。
	若宮 秀人	①ゲーム ②優しい看護師を目指して頑張ります。
介護福祉士	小川真由美	①散歩 ②誠実に仕事に取り組みたいと思います。
	野村 孝行	①野球観戦 ②どんな人にも愛されるように日々勉強を頑張ります。
	渡部由佳梨	①音楽鑑賞 ②笑顔の絶えない介護福祉士になりたいです。



◆医療社会相談部 1名 ◆松山市地域包括支援センター小野・久米地区 1名



医療社会相談部		
医療ソーシャルワーカー	三上 祐加	①音楽鑑賞・旅行 ②いつも笑顔でいることを心がけています。
松山市地域包括支援センター小野・久米地区		
保健師	光宗 美咲	①ドライブ ②多くの方々との関わりを大切にしていきたいです!

4月入職者 合計38名(新卒者:上記31名 中途入職者:7名)



回復期リハビリ認定看護師とは…?

回復期リハビリテーション認定看護師は、全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会が定める様々な課題をクリアし、認定を受けた回復期リハ病棟におけるエキスパート看護師です。その主な活動として、病棟の看護師・介護福祉士のリハ看護に関する知識向上の為、院内研修を行ったり、定期的に新聞を病棟などに配布したりしています。



訓練士により実施されるリハビリは、決められた時間(単位)がありません。入院患者様の1日のリハビリ訓練時間は約2~3時間。それ以外の

時間は病棟で、更衣、食事、排泄、入浴など多くの生活動作を行っています。私たち病棟スタッフは、患者様の最大の能力「できるADL」を病棟で活かし、実生活場面で「しているADL」になるよう援助していかねばなりません。



当院の回復期リハビリ認定看護師です!

多職種との連携を取りながら、入院患者様が意欲的にリハビリに取り組み、社会復帰・家庭復帰を目指して、ADLの拡大及びQOL向上を支援していくと共に、発症前の状態に少しでも近づき、患者様やご家族様が笑顔で退院されていく姿を見ることが私たちの最大の目標です。

今後も患者様とご家族のご意向にあった退院先・目標に向かって、患者様の日常生活を精一杯サポートしていきます。



医療安全情報

全職員を対象に平成23年度医療安全研修会を開催しました。今回は「医療安全におけるメディエーション」をテーマに講演を行いました。日頃、皆さんもいろいろなクレームに、苦慮された経験があるのではないでしょうか?



医療機関へのクレームの多くは、必ずしも初めから病院や医療スタッフを批判する意図があるものではありません。

しかし、私たちの対応のあり方が原因で患者・ご家族様も期せずして難しい局面へ向かってしまうことが少なからずあると思います。



クレームを苦情と考えず、貴重なご意見として捉え、医療スタッフが適切に自信を持って対応出来るように心掛ければ、患者・ご家族様とのコミュニケーション、信頼関係の構築にも繋がると思ひ、テーマとして取り上げました。

私たちは、患者様やご家族、医療機関を訪れる利用者を大切にするという理念を持ちご意見を医療の現場に活かし、より良い医療・看護につなげていきたいと思っております。

英国医学会誌に掲載されました!

当院の平間久雄副院長が属する研究グループが発表した“低体温療法の集中治療”に関する研究論文が英国麻酔学会誌「Anaesthesia」(Journal of the Association of Anaesthetists of Great Britain and Ireland)の2012年3月号に9ページに亘る全文が掲載されました。



英語で書かれた論文 →

部署紹介 — 医療社会相談部

私たち医療社会相談部は現在医療ソーシャルワーカー9名で構成されています。

当院の相談部の特徴は、患者様お一人お一人に、担当の医療ソーシャルワーカーが対応させて頂く点です。病気や怪我等による入院は、患者様はもちろんのこと周囲のご家族様も多くの心配や不安を抱えていらっしゃると思います。私たち医療ソーシャルワーカーは患者様・ご家族様の気持ちに寄り添い、抱える課題等をどのように乗り越えていくのか、社会福祉の専門家として一緒に検討させて頂いています。

現行の公的制度はその大半が「申請主義」になっています。申請すれば利用可能な制度も、申請しなければ当然利用できず、また申請の対象になっていることを教えてもらえることもほとんどありません。患者様が不利益を被ることのないように、医療ソーシャルワーカーとして制度利用の知識を深め、周囲の関連機関とも連携をとりながら退院に向けた支援をさせて頂きたいと思っています。

困ったこと、不安なこと、心配なこと、些細なことでも構いません。私たち医療ソーシャルワーカーがお手伝いいたします。お気軽にお声かけ下さい。



お知らせ

このたび医療法人財団慈強会は、野本記念病院を運営する医療法人財団仁清会との連携を強化して、交流・協力体制をとることになりました。

仁清会は、当法人と同じく特定医療法人財団という大変公共性の高い組織形態をとって地域医療に貢献すべく歴史を積み重ねてきました。また、松山市中心部に位置して現在まで救急輪番病院を継続してきています。しかし、現在は一病院で全てを賄う病院完結型よりも、特化した専門性と地域連携が求められる時代です。このような中で先方の理事長よりお話を頂き今回の運びとなりました。

従って、今後も松リハはリハビリテーション、野本記念病院は救急輪番の維持と整形外科に特化した地域医療を進めていくことに変わりはありません。

どうぞ引き続きご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

＊ 理事長・院長 木戸保秀



(財)日本医療機能評価機構認定病院

医療法人財団
慈強会

松山リハビリテーション病院

〒791-1111 松山市高井町1211番地

TEL.089-975-7431 FAX.089-975-1670

ホームページアドレス <http://www.jikyokai.or.jp>

許可病床 326床・6病棟(回復期病棟160床・一般病棟116床・療養病棟50床)

日本リハビリテーション医学会研修施設

●交通のご案内 久米駅より伊予鉄ループバス約15分 タクシー約5分

●関連施設紹介

介護老人保健施設 高井の里

TEL.089-975-7761 FAX.089-976-5779

東松山在宅ケアセンター

東松山訪問看護ステーション TEL.089-975-7425

東松山在宅介護支援事業所 TEL.089-975-6158

東松山訪問介護事業所 TEL.089-970-1238

社会福祉法人 慈光会 介護老人福祉施設 ていれぎ荘

TEL.089-975-5558 FAX.089-975-9300

〈松山市委託事業〉松山市地域包括支援センター 小野・久米地区

TEL.089-970-3761 FAX.089-975-7620

編集責任者 事務長 武井淳二